

認し可決した。事業費の総額は5億8000万円で、市が14.9%の8620万円を持ち出せば事業が完成した。これを見逃し、トイレも箱物もない単なる広場、駐車場になっている。昨年12月議会には多目的施設建設に関する請願書が採択され、会派代表者が集まって、議会として市長に直接訴えた。物事は正常な形で判断し、考えを見直して地域の活性化を考えていただきたい。広場、報徳銀行を有効に使えば人も集まると思う。今後のことについて答弁いただきたい。

答弁（市長）

まだ4カ月ではあるが、イベント広場、商店街の駐車場として有効活用されていると考えている。議会の意見を真摯に受け止め、今後のあり方を真剣に検討していきたい。

質問

人が集まれば屋根やトイレは必要になってくる。箱物は管理費がかかると言うが、地域の方々は、みずから管理したり、利用者からお金をいただいたら良いだらうということも言っている。良く考えていただきたい。

答弁（市長）

皆さんの意見を真摯に受け止

質問

めながら検討している。本来の姿に戻り、みんなが集まりやすいようなものに変わることを期待している。

〈その他の質問〉

○合併特例債の事業の減少に伴う減額による活用計画の見直しと使用期間延長による事業計画について

○農業問題と自給率について



市民の広場

「公共施設の運用方針」について（一問一答）

金子 晃久 議員

質問

現在、さまざまな公共施設が老朽化を迎え、修繕、建て替え



を検討しなければならぬ時期を迎えている。今後、大規模な工事が必要となるものもあり、それ相当の財政需要が発生する。また、石下旧庁舎等使用されていない施設の明確なビジョンが示されないまま保留されているものもある。さらに、災害時に万全の機能を果たし、老朽化に伴う事故を防止する観点からも、中長期的な公共施設全体を網羅した運用方針、計画は必要と考えるがどうか。

答弁（企画部長）

現在、施設の不具合箇所を随時修繕している状況にある。今後は更新の必要性や更新計画等を全庁的に集約し、年次的な施設更新が図れるようにしていく。

質問

修繕や建て替えの計画は各部署ごとに行われているのか。

答弁（企画部長）

各担当課で行っている。

質問

市長が考えている方針、公共施設に関する考えを聞きたい。

答弁（市長）

学校施設については老朽化マスタープランをつくる。全ての公共施設についても、整備基金を積み立て、計画も全庁的に検討していきたい。また、少子高

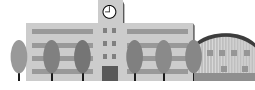
齢化社会を迎え、施設の縮小も考えざるを得ず、中長期的な全体計画をつくっていききたい。

質問

学区等個別の需要を勘案し、全庁的に計画を立てていったほうが良いのではないか。また、今後の市の人口動態、職員の減少等を勘案した計画が必要になるのではないかと考える。

〈その他の質問〉

○「常総きぬ川花火大会」について



防災・治水対策について（二問一答）

堀越 道男 議員

質問



グリーンヒル団地の埋め立ては当初計画より低い位置となり、排水ポンプはあるが、今年のゲリラ豪雨で排水しきれず、冠水してしまった。強制排水をしても、最近の豪雨で冠水がたびたび起こるようになった。このグ

リーンヒル団地内の排水対策について、今後の展望を聞きたい。
答弁(都市建設部長)

グリーンヒル団地中央部の地盤沈下により、流下能力が減少し、ポンプの交換を行うとともに冠水対策を進めてきたが、今年も道路冠水が発生しているため、ポンプを増設するための補正予算を計上し、来年の雨季までには工事を完了する予定。

増設で対応可能なのか。
答弁(道路課長)

総合的に判断し、内径が200ミリないし300ミリの能力の高いものにする事で、解消できると考えている。

質問

住宅が増え、坂巻排水樋管を大きくしなければならぬという事になれば、今後の課題として樋管の改修等を展望に入れなければならないと感じるが、市としてどう対応するのか。

答弁(都市建設部長)

国土交通省下館河川事務所に確認したところ、現時点で改修の予定はないが、緊急性の高いところから順次改修するとの回答を得た。国土交通省と一体となつて、改修には全力を尽くしていきたい。

質問

緊急課題だと思つるので、そういう立場でお願いしたい。

〈その他の質問〉

○公共下水道について
○河川の除草対策についての一考察



坂巻排水樋管

公共交通について

(二問一答)

石川 栄子 議員



質問

乗合交通は、予約が取れないなどの不備な点が多いので、小型バスによる運行を求め、さきの市議会でも市内循環バス運行

に関するアンケート調査に反対したのは、ちょっと見ただけで運行費用がかかるという印象を受け、バスの運行は必要ないと答えが多くなるようなアンケートはやらなくても良いと思つたからである。

①循環バスの小型化で、いつも同じ時間、同じところに来てくれるという安心感があり、利用しやすい。
②市長の公約でもある。
③高齢者の交通事故も増えており、事故防止、免許証の返納を促す意味でも、小型バスの運行が望ましいと考える。

市としてどう考えているのか。
答弁(企画部長)

アンケート調査の補正予算案が否決されたことを真摯に受け止め、公共交通活性化協議会等と協議しながら、より効率的で持続可能な公共交通体系を構築していきたい。

多くの交通弱者には、乗合交通だけでは不十分だと思う。乗合交通だけで市民の足が確保できると考えているのか。

質問

答弁(企画課長)

要望等はできる限り協議会に諮り、市民が利用しやすくなる方向で検討を続けている。病院

の帰り等に予約が取りづらいついという指摘があるが、余裕を持った時間の予約や予約し直すことなどをしていたらいい。

質問

不便だという声が多いので、実現に向けて改めて検討していただきたい。

〈その他の質問〉

○生活保護行政について
○平和行政について



異常気象による水害対策について(二問一答)

遠藤 正信 議員

質問



先日、外出した際荒天に見まわれ、5年前に災害対策に強い常総市のまちづくりということに質問したことを思い出した。豪雨や冠水などを目の当たりにしたことを踏まえ、異常気象による大雨洪水警報が発令された場合の当市の対応について聞きたい。

答弁（市民生活部長）

警報が発令された場合には、安全安心課や関係各課の職員が出勤し、情報収集、警戒巡視を行っている。状況によっては直ちに緊急体制に入れるよう態勢を整えている。また、7月には水防法が改正され、地域の防災力の強化が求められている。災害に対して被害を最小限に食い止めるため、防災対策の強化を図るとともに、安全安心なまちづくりを目指していく。

質問

水防法の一部改正とは。

答弁（安全安心課長）

主な改正点は、河川管理者と地域の水防活動との連携強化、事業者による自衛水防の推進、水防協力団体制度の拡充の3点。

質問

異常気象に対応するハザードマップ見直しの考えはあるか。

答弁（安全安心課長）

必要に応じ、改定するよう前向きに検討していきたい。

質問

道路等の雨量の対応基準は。

答弁（安全安心課長）

1時間当たり50ミリメートルの雨量と聞いている。

質問

近年災害がたびたび襲ってき

ているので、しっかり対応していただきたい。

（その他の質問）

○当市の財政見通しと、圏央道I C周辺開発進捗状況について



常総市の将来に向かった展望と活性化の方策について（一問一答）

水野 昇 議員



質問

鬼怒川西側地区県道（鹿小路細野線）の進捗状況と予定される高崎坂東線の方針と大生郷工業団地と接続する古間木地区農用地の今後の活用方策について尋ねる。

答弁（都市建設部長）

鹿小路細野線を含む鬼怒川ふれあい道路については、市の施工区間については平成27年度の供用開始を目標に進めている。市内の整備状況は、国道354

バイパスから土浦坂東線、大生郷工業団地から高崎坂東線までの3.9キロは未着手となっており、早期開通を県に要望していく。高崎坂東線は市道認定されれば平成30年度までに整備する計画で、今年度は杉山から国生まで供用開始する予定である。古間木地区の農用地は農振農用地で、具体的な開発計画がなければあらかじめ除外はできない。

質問

農業離れが進む中で、具体的な活用策を聞きたい。また、市長の考えは。

答弁（産業労働部長）

開発計画が具体的にいった段階で検討されていくと考える。

答弁（市長）

農振農用地の転用は難しく、具体的な開発計画があれば考えていきたい。

質問

豊田城周辺の農用地の活用方針は。

答弁（企画部長）

具体的な活用方針は決定されていないが、石下中心市街地まちづくり検討協議会の場において、整備候補地と議論されていることもあり、市民の皆様の見を参考に、最適な土地活用方策を模索していきたい。



総合福祉センター南側の公共用地

公立（市立）幼稚園の今後について（一問一答）

風野 芳之 議員



質問

石下地区の公立幼稚園はいずれも老朽化し、エアコンもない。

答弁（教育部長）

今後の方策、計画を聞きたい。早速に今後の方向性、計画等について審議する審議会を設置し、審議、調査等を実施していきたい。エアコンは小中学校の整備と合わせ計画していきたい。